

評価規準の作成 理科

中学部 1段階 Cア「物と重さ」 を取り上げて

【参考資料】

- ◆「各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨（小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部）」⇒★

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/nc/_icsFiles/afieldfile/2019/04/09/1415196_4_1_2.pdf



（小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）

平成31年3月29日 別紙4）

- ◆「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料（令和2年4月）」⇒☆

https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_tokubetu01-1386427.pdf



※「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」等からの引用文の一部を
斜体・太字・赤字で強調して示している部分は、山形県教育センターによるものです。

中学部1段階 Cア「物と重さ」

中学部【理科】 内容	
1段階	
—	ア 水や空気と温度：水や空気の温度の変化に着目して、その変化を調べる活動
—	(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 水や空気は、温めると、膨張すること。 ⑧ 水は、温度によって水や空気の体積や密度が変化する。また、水や空気の体積や密度が変化する原因について、既習すること。
ア 物と重さ：物の性質について、形や体積に着目して、重さを比較しながら調べる活動	
(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 物は、形が変わっても重さは変わらないこと。 ⑧ 物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。	
(イ) 物の形や体積と重さとの関係について調べる中で、差異点や共通点に気づき、物の性質についての疑問をもち、表現すること。	
イ 風やゴムの方の働き：風やゴムの方の働きについて、物の動く様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動	
(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦ 風の力は、物を動かすことができる。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。 ⑧ ゴムの力は、物を動かすことができる。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。	
(イ) 風やゴムの方で物が動く様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、風やゴムの力の働きについての疑問をもち、表現すること。	
ウ 光や音の性質：光や音の性質について、光を当てたときの明るさや音の強さや活動	

C 物質・エネルギー

知的障がいのある児童生徒の各教科等の目標・内容一覧表「理科」より

中学部1段階 Cア「物と重さ」

		いて調べる中で、見いだし 習の内容や生活経験を基に
	<p>ア 物と重さ</p> <p>物の性質について、形や体積に着目して、重さを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>㊦ 物は、形が変わっても重さは変わらないこと。</p> <p>㊧ 物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。</p> <p>(イ) 物の形や体積と重さとの関係について調べる中で、差異点や共通点に気付き、物の性質についての疑問をもち、表現すること。</p>	<p>ア 水や空気と温度</p> <p>水や空気の性質について、着目して、それらと温度の調べる活動を通して、次のことができるよう指導する。</p> <p>(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>㊦ 水や空気は、温めたり冷めたりするとその体積が変わること。</p> <p>㊧ 水は、温度によって水蒸気や氷になること。</p> <p>(イ) 水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問や生活経験を基に予想し</p>
C 物質・エネルギー	<p>イ 風やゴムの力の働き</p> <p>風やゴムの力の働きについて、力と物の動く様子に着目して、それらを比較しながら調べる活</p>	

評価規準の作成手順

1 「評価の観点及びその趣旨」(★参照)の確認

※ 各教科等の目標を踏まえて作成されている



2 「段階別の評価の観 points の趣旨」(☆参照)の確認

※ 段階の目標を踏まえて作成されている



3 「内容のまとめりととの評価規準」の作成

① 各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりととの評価規準」を作成する

評価規準の作成手順 1

～評価の観点及びその趣旨の確認～

理科の目標		評価の観点及びその趣旨	
知識及び技能	自然の事物・現象についての基本的な 理解を図り 、観察、実験などに関する 初歩的な技能を身に付けるようにする。	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な性質や規則性などについて 理解している とともに、器具や機器などを目的に応じて扱いながら観察、実験などを 行い 、それらの過程や得られた結果を 記録している。
思考力・判断力・表現力等	観察、実験などを行い、 疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。	思考・判断・表現	自然の事物・現象について観察、実験などを行い、 疑問をもつ とともに、 予想や仮説を立て、それらを表現するなどして問題解決している。
学びに向かう力・人間性等	自然を愛する 心情を養う とともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに 生かそうとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に 進んで関わり 、学んだことを学習や生活に 生かそうとしている。

評価規準の作成手順 2

～「段階別の評価の観点の趣旨」の確認～

1段階「C 物質・エネルギー」の目標		評価の観点及びその趣旨	
知識及び技能	物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路について 気付 き，観察，実験などに関する 初歩的な技能を身に付けるようにする。	知識・技能	物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路についての基本的な性質や規則性などについて 気付いている とともに，器具や機器などを正しく扱いながら 観察，実験などを行い ，それらの過程や得られた結果を 記録している。
思考力・判断力・表現力等	物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路から， 主に差異点や共通点に気付 き， 疑問をもつ力を養う。	思考・判断・表現	物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路について 調べる中で，疑問をもち，表現するなどして問題解決している。
学びに向かう力・人間性等	物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路について進んで調べ，学んだことを日常生活などに 生かそうとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	物の性質，風やゴムの力の働き，光や音の性質，磁石の性質及び電気の回路についての事物・現象に進んで関わり，学んだことを学習や生活に 生かそうとしている。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

①「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係の確認

ア 物と重さ

物の性質について、形や体積に着目して、重さを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。

㊦ 物は、形が変わっても重さは変わらないこと。

㊧ 物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。

(イ) 物の形や体積と重さとの関係について調べる中で、差異点や共通点に気づき、物の性質についての疑問をもち、表現すること。

(特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 P.154)

(下線)…知識及び技能に関する内容

(長破線)…思考力、判断力、表現力等に関する内容

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「知識・技能」のポイント

- 「知識」についての「内容のまとまりごとの評価規準」は、学習指導要領の「(2) 内容」における知識に関する内容である㊦、㊧などの **文末を「～を理解している」**として作成する。
- 「技能」についての「内容のまとまりごとの評価規準」は、学習指導要領の「(2) 内容」における技能に関する内容である「観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること」の **文末を「～身に付けている」**として作成する。

評価規準の作成手順 3 ～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、
「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「思考・判断・表現」のポイント

- 「思考・判断・表現」についての「内容のまとまりごとの評価規準」は、学習指導要領の「(2)内容」における思考力，判断力，表現力等に関する内容である，「…について調べる中で，差異点や共通点に気付き，…についての疑問をもち，表現すること」の**文末を「～表現している」**として作成する。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、
「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- 「主体的に学習に取り組む態度」についての「内容のまとまりごとの評価規準」は、学習指導要領の「(2) 内容」に育成を目指す資質・能力が示されていないことから、「評価の観点及びその趣旨」の「**…についての事物・現象に進んで関わり、学んだことを学習や生活に生かそうとしている**」を用いて作成する。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとまりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成

【内容のまとまりごとの評価規準(例)】

内 容		内容のまとまりごとの評価規準	
知識及び技能	<p>(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を 身に付けること。</p> <p>① 物は、形が変わっても重さは変わらないこと。</p> <p>② 物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。</p>	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・物は、形が変わっても重さは変わらないことを 理解している。 ・物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを 理解している。 ・観察、実験などに関する初歩的な技能を 身に付けている。
思考力・判断力・表現力等	<p>(イ) 物の形や体積と重さとの関係について調べる中で、差異点や共通点に気づき、物の性質についての疑問をもち、表現 すること。</p>	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・物の形や体積と重さとの関係について調べる中で、差異点や共通点に気づき、物の性質についての疑問をもち、表現 している。
学びに向かう力・人間性等	<p>※1段階の目標ウ参考</p> <p>物の性質、風やゴムの力の働き、光や音の性質、磁石の性質及び電気の回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに 生かそうとする態度を養う。</p>	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・物の性質についての事物・現象に進んで関わり、学んだことを学習や生活に 生かそうとしている。 <p>※ 評価の観点及びその趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。</p>